

令和3年4月16日  
アムステルダム日本人学校  
No. 1  
<http://www.jsa.nl/>

## 令和3年度始まりました！

校長 伊藤 嘉浩

コロナ禍でも校舎前の桜は力強く咲き誇り、新しい年度の到来を告げてくれています。  
保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

向原正博 前校長先生の後を受け、本校に赴任いたしました伊藤嘉浩です。児童生徒一人一人が未来に向かって大きく羽ばたく土台づくりのために、職員一同力を合わせて努めていきたいと思っておりますので、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



この度の人事異動により、校長を含め、新たに次の6名が本校に赴任しました。

校長 伊藤嘉浩	柏木つるみ 教頭先生	金子直樹 先生
松崎洋樹 先生	中原侑也 先生	内田直敬 先生

全校児童生徒128名（10クラス）で今年度スタートします【4月16日現在】。

【小学部】	1年生：19名	2年生：25名（1組：12名、2組：13名）
	3年生：12名	4年生：24名 5年生：14名 6年生：5名
【中学部】	1年生：13名	2年生：10名 3年生：6名

校訓『強く 明るく 豊かに』の基、次の学校教育目標を掲げ、諸活動に取り組んでまいります。

児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、明るい未来を創り出す国際人としての基盤を培い、オランダに生きる規律ある児童生徒を育成する。

【裏へ→】

本日の始業式では、次のような話をしました。

本日より令和3年度が始まります。皆さんはそれぞれ1学年進級しましたね。進級おめでとうございます。新しい一年が始まるにあたり、先生から皆さんに3つのことを呼びかけたいと思います。

一つ目は、「弱い自分に負けず、まずやってみよう」ということです。掃除は面倒だからいい加減にやろうかな、伝えたいことがあるけど、うまく伝える自信がないからやめようかな、そんな思いになることはありませんか。

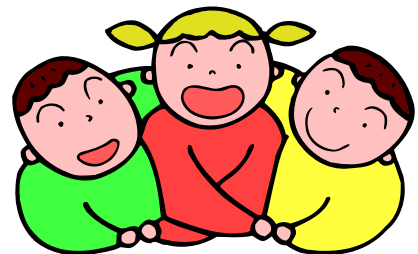
ちょっと楽をしたい、不安だからやめたいと考えることは誰にでもあることだと思います。でも、そうした思いでいろんなことをやらなかったとしたら、やらないことを考えるくせがついてしまいます。やってみれば楽しくなること、自分の力がつくことが周りにはたくさんあるのに、とてももったいないことです。皆さんには、まずやってみよう



一歩を踏み出す勇気をもった強い人になってほしいと願っています。

二つ目は、「挨拶をしよう」ということです。声に出して挨拶できたとき、気持ちがすっきりするのを感じたことはありませんか。また、人から元気な声で挨拶をされたとき、同じように気持ちよくなった経験はありませんか。おはようございます、こんにちは。その挨拶一つで、自分の気持ち、そして周りみんなの気持ちが明るくなります。「先生、私はきちんと挨拶できていますよ」という人は、人よりも先に、そしてとびっきりの笑顔でいつも挨拶できることを目指してみましょ。明るい気持ちでいることで、たとえ失敗しても落ち込むばかりでなく、次に失敗しないためにどうしようかと、物事を前向きに考えられるようにもなります。皆さんには、進んで挨拶をして、いつも前向きで明るい気持ちをもった人になってほしいと願っています。

最後三つ目は、人に頑張るとか、大丈夫だよと「励ましの言葉をかけよう」ということです。皆さんの周りに失敗したことは一度もないという人はいると思いますか。きっとそれはいませんね。誰だって何かしら失敗することがあります。そうした時に、「失敗ばかりだな」「君はダメだな」そんな言葉を言われたら、どんな思いになるでしょうか。とても傷つくはずですよ。では、どんな言葉をかけたら次、頑張ろうと思うことができるでしょうか。皆さんには、人の気持ちを考えてあげられる豊かな心の持ち主になってほしいと願っています。



ここまでお話ししてきて、気づいた人も多いと思います。先生が話した3つのことは、アムステルダム日本人学校の校訓「強く 明るく 豊かに」のことなのです。「強く、明るく、心豊かな」人になることを目指して、この一年の生活を送ってほしいと思います。